

		教育活動に関するもの	教師の評価		生徒の評価		保護者評価	
			R7	R6	R7	R6	R7	R6
教育活動に関するもの（学校の取組について）	めざす学校像	授業は工夫や改善がされ、わかる授業が行われている。	3.2	3.4	3.6	3.6	3.1	3.0
		個への支援を取り入れた授業や補充学習の体制をとっている。	▼2.8	3.1	3.3	3.2	2.7	2.7
		道徳の授業を通して、豊かな心を育成している。	▼2.5	3.3	3.6	3.7	3.0	3.1
		家庭学習の習慣を身に付けさせる具体的な指導をしている。	▼2.7	3.0	3.2	3.2	2.6	2.4
		学校全体の共通理解と協力により、特別支援教育の必要な生徒に対しての指導に努めている。	2.9	※	3.5	※	2.9	※
		教育目標や重点などの教育方針をわかりやすく伝えている。	3.0	※	3.6	※	3.0	※
		年間行事予定等を工夫し、学習や行事を保障するよう努めている。	3.1	3.3	3.8	3.7	3.2	3.1
		学年・学校行事を充実させ、生徒に達成感を味わわせている。	3.4	3.3	△3.6	3.2	3.2	3.0
		生徒に健康・安全に関心をもたせ、良い生活習慣を身に付けさせている。	3.1	3.1	3.6	3.5	3.1	3.0
		校舎や環境を整備し、安全で学びやすい環境になっている。	3.2	※	3.7	※	3.1	※
		生徒指導の方針や学習指導と評価などについて、生徒・保護者に十分説明している。	3.0	3.2	3.7	3.8	2.9	2.8
		学校からのお便り（学校だより、学年だよりなど）の内容は適切であり、「すぐーる」やホームページで情報を積極的に発信している。	3.5	3.4	3.6	3.8	△3.3	3.0
	めざす教師像	挨拶や声かけなど、積極的に生徒とコミュニケーションを図っている。	3.5	3.6	3.7	3.7	3.2	3.1
		生徒一人一人のよさを見だし、認め、伸ばす生徒理解をしている。	3.3	3.4	3.5	3.4	3.0	3.0
		生徒一人一人が居場所のある学級づくりをし、自己肯定感をもたせている。	3.2	3.2	3.3	3.2	3.0	3.0
		いじめ、不登校、問題行動などの早期発見と敏速な対応をしている。	3.4	3.2	3.5	3.4	3.0	3.0
		生徒との触れ合いを大切にし、教育相談の充実を図っている。	3.2	3.4	3.4	3.3	3.0	3.0
		生徒に寄り添い、話をよく聞き、生徒を大切にした生徒指導をしている。	3.4	3.4	3.6	3.5	3.1	3.0
		「だめなものはだめ」「良いことは認める」ぶれない生徒指導をしている。	3.3	3.1	3.7	3.7	3.1	3.0
		保護者と連携を十分にとり、丁寧な対応をしている。	3.2	3.3			3.1	3.0
		やりがいをもって自分の分掌に取り組み、何事にも意欲的に臨んでいる。	3.0	3.2				
		教師間・学年間で、積極的にコミュニケーションをとり、協力体制を作っている。	3.3	3.3				
		常に教材研究や指導法の勉強をし、指導力を向上させている。また、市教研や教育センターの専門研修に積極的に参加し、指導に生かしている。	▼2.9	3.2				
		校内研修に主体的に取り組み、専門性の向上に努めている。	▼2.8	3.3				
		スクールカウンセラーや関係機関と協力し、生徒指導や教育相談の改善に取り組んでいる。	3.0	※				
		千葉市情報セキュリティ対策基準を遵守し、情報セキュリティ対策を確実に行っている。	3.2	※				
		空き教室等の校内の死角について、意識的に見回り等に努めている。	3.0	※				
		ワークライフバランスを考え、健康管理がしっかりとできている。	2.8	※				
生徒の実態に関するもの	めざす生徒像	目標をもち前向きに学校生活を送っている。	3.2	3.2	3.5	3.4	3.0	2.9
		相手の立場や気持ちを思いやる生活をしている。	3.0	3.1	3.6	3.6	3.2	3.1
		授業や行事で意見や助言をしあうなど、相互に高め合っている。	3.3	3.4	3.4	3.4	3.0	3.0
		ボランティア活動に進んで参加している。。	▼3.0	3.3	2.7	2.7	2.5	2.5
		自分の心や体を大切に考えて生活している。	3.2	3.1	3.5	3.4	3.1	3.0
		大きな声で挨拶をしている。	2.8	2.8	3.2	3.1	2.8	2.8
		そうじに一生懸命取り組んでいる。	▼2.8	3.1	3.5	3.5	3.0	2.9
		生き物や、身の回りのものを大切にしている。	3.0	3.1	3.6	3.6	3.1	3.0
		学校のルールを理解し、正しい判断で行動している。	3.2	3.3	3.6	3.6	3.2	3.1
		落ち着いて授業や学校生活に取り組んでいる。	3.5	3.3	3.5	3.6	3.2	3.1
		係活動などに責任をもって取り組んでいる。	3.3	3.4	3.7	3.7	3.4	3.3
		部活動に積極的に参加し、体力や技術を向上させている。	▼3.2	3.5	3.5	3.5	3.3	3.3
様々なことに対応できる、余裕のある広い心をもっている（キレない、折れない）。	3.1	3.0	3.3	3.3	3.0	3.0		

学校評価アンケートについて

本校では、学校運営や教育活動に関して、目指すべき目標に対する達成状況をチェックし、その改善を図るために学校評価を実施しています。また、結果を公表し、保護者や地域の皆様から理解と参画を得て、連携して学校づくりを進めていきたいと考えています。

今年度は11月に教職員は自己評価として、生徒と保護者の皆様にはアンケートという形で学校評価を実施しました。学校評価アンケートは、「教育活動に関するもの」と「生徒の実態に関するもの」に分かれています。それぞれの項目を4から1までの4段階で評価し、平均値を載せてあります。

基準 4…良くてきている 3…おおむねできている 2…あまりできていない 1…ほとんどできていない

アンケート結果の分析と本校の課題について

令和7年度の学校評価アンケートは、教師と生徒はギガタブ、保護者は携帯連絡メール「すぐる」を使って回答しました。回答できない項目については無回答を認めました。アンケートに参加した人数の割合は、教師96.0%、生徒87.6%、保護者90.8%でした。保護者の回答率が昨年度よりも27.6%も上昇しました。ご協力ありがとうございました。

学習指導においては、現在も落ち着いて学習に取り組めておりますが、今後もより一層確かな学力の定着を図るため、授業改善を推進していきます。生徒一人一人の学習状況をしっかりと把握し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図っていきます。また、今後の課題として、道徳の時間の指導の充実を図っていくこと、家庭学習の習慣が更に身に付くような工夫などが評価の結果から見てとれます。課題改善のためにも教職員が積極的に研修に励み、専門性の向上に努めていく必要性について全職員で再確認させていただきました。

生徒の実態に関する評価では、特に落ち着いた生活態度や係活動における責任感などの項目に、生徒指導の充実が成果として表れていると考えられます。一方、大きな声で挨拶をする、ボランティア活動に参加する項目は、指導を工夫していく必要があります。今後も学校生活のあらゆる場面で生徒が自己存在感を実感できるように指導・支援していき、学級や学校での満足感を高めることによって、生徒と教職員の心が通い合う温かい学校を目指していきます。

生徒が抱える複雑で多様化した問題や課題の解決のために、全職員が力を合わせ、学校が組織として対応できるように取り組んでまいります。

学校では、学校評価の結果を真摯に受け止め、課題にすべき点は全職員で確認するとともに、良いところは継続していき、よりよい磯辺中づくりに向けて努めてまいります。今後も保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

（文責 教頭）